

どうろ 道路

道路には、いろいろな工夫がされています。
「だれが」「なんのために」使っているのか、
知っていますか？

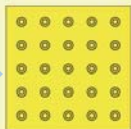
整備事例

視覚障害者誘導用ブロック

- 視覚障害者が白杖*や足裏で確認しながら、歩く手がかりにしています。

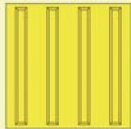
点状ブロック

注意する場所(横断歩道の手前等)を示します



線状ブロック

歩く方向を示します



- 横断歩道上で渡る方向を示す点状のラインを「エスコートゾーン」といいます。

- ▶歩道上にはモノを置かないのが原則です。
- ▶特に、視覚障害者誘導用ブロックの上には、絶対に自転車や看板などを置かないようにしましょう。

私にできる
ちょっとしたこと



整備事例

音響式信号機・青色延長信号機



- 視覚障害者に、信号が青になったことを伝えるための音が出ます。
- 青信号の時間を延長できる信号もあります。

- ▶音が出ない信号機もたくさんあります。

私にできる
ちょっとしたこと



- ▶赤信号で一緒に待っている視覚障害者がいたら、「青になりました」と伝えましょう。

整備事例

車いす使用者用駐車施設



- 車いすを使う人などが、車から乗り降りできるように、横にスペースを広く取っています。

- ▶広いスペースは、必要な人のために空けておき、必要ない人は一般の駐車スペースに停めましょう。

私にできる
ちょっとしたこと

*白杖(はくじょう):視覚障害者が歩行時に周囲の情報を得たり、周囲に視覚障害者である事を知らせる白い杖。

